〈市民大学リレー講座〉

# 事例から学ぶ観光の今

-新しい交流のカタチー

市内 5 大学の教授陣が「観光・交流」をテーマに多彩な講義を提供します。 持続可能性、歴史、文化、地域ブランド、世界文化遺産、デザイン。 様々な切り口から、交流を生み出す観光について学びます。

- 第2回 10/12 中 計画大学 上利博規教授(人文社会科学部) 「味わい深い観光と交流づくり」
- 第3回 10/19 主 静岡英和学院大学 崔瑛(チェヨン) 講師(人間社会学部) 「地域ブランド構築と観光まちづくり ――日韓の事例を中心に――」
- 第4回 10/26 中東海大学 中木隆之教授 海洋学部 「観光資源の固有価値と手段的価値—三保松原と富士山世界文化遺産登録」
- 第5回 11/2 金 常葉大学 安武伸朗 准教授 (造形学部) 「観光をデザインする視点」

会場:アイセル21 静岡市葵区東草深町3番18号

時間:午後2時~4時 受講料:無料 〈市民大学リレー講座〉

## 事例から学ぶ観光の今

新しい交流のカタチー

観光について考えよう

旧来の観光は、マス・ツーリズムにせよ、

リゾート観光にせよ、様々な問題を抱え

ていた。そこには、「持続可能性」という点

でも大きな疑問がある。それに対して、

地域社会のあり方という視点を含めて、

新しい観光のあり方を考えたい。

第1回 10/**5**±



静岡県立大学 玉置泰明 教授

国際関係学研究科

第2回

### 味わい深い観光と交流づくり



静岡大学 上利博規教授

人文社会科学部

観光の出発点は「あの有名な…を見たい、触 れたい、味わいたい」ですが、一歩進んでより 味わい深く心に残る観光のあり方を、観光する 立場と迎える立場、そして両者の交流といった 点から考えます。全国各地、アジア各国を回っ て調査した成果と、静岡の歴史文化を生かし た街づくりに携わってきた経験などを生かし、 たくさんの写真を交えながら観光と交流づくり に何が大切かをお話したいと思います。

POST CARD

第3回 10/**19**  $\pm$ 



静岡英和学院大学 崔瑛(チェヨン) 講師 人間社会学部

#### 地域ブランド構築と 観光まちづくり 日韓の事例を中心に-

近年、全国各地で地域ブランド構築による地 域活性化が注目されています。地域ブランド の概念、観光まちづくりの考え方について説 明した上で、国内外の地域ブランド構築の 取り組み、観光まちづくりの実践事例を取り 上げ、その成果と課題について解説します。

第4回

### 睍光資源の固有価値と手段的価値



平木隆之教授 海洋学部

本講義では、静岡の観光資源について、その「固有価 値」と「手段的価値」という視点から考えます。私たち が資源について考えるとき、利益を生み出す手段的 価値を重視しがちですが、観光資源の場合には、当該 資源の存在そのものが有する固有価値が重要になり ます。特に、東海大学海洋学部に近接する三保の松 原は、本年富士山の世界文化遺産登録において、そ の普遍的価値が問われるホットな観光地となりまし た。本講義では、今回の世界遺産登録結果を踏まえ、 三保の松原の固有価値を再考したいと思います。

POST CARD

第5回

#### 観光をデザインする視点



安武伸朗准教授

私たちが旅に行きたくなるきっかけは何でしょう? 静岡とロンドンの大学生が企業と合同で、「旅の きっかけ」のデザインを研究しました。結果はこれ までの観光集客とは異なり「個人が自分の力で交 流できる」視点が大半でした。一方、静岡市民の《シ ビックプライド:この街を誇りに思う気持ち》は「好 きだけど自慢できることは少ない」という傾向が見 えてきました。外へ出かける、外から人が来るには、 意外な視点や価値が潜んでいます。学生の作品や 研究成果を紹介しながら、新しい観光のかたちを 考えます。

定員:どなたでも80人 申込方法:ハガキまたはFAXに

①「市民大学リレー講座」、②〒住所、③氏名、④電話番号、 ⑤年代、⑥職業を明記の上、下記申込先へお申込みくだ さい。静岡市 生涯学習推進課ホームページからもお申込 みできます。

締切日: 9月17日(火)締切日必着、多数の場合抽選

申込先:〒420-8602静岡市葵区追手町5-1 静岡市生涯学習推進課

FAX:054-221-1758

静岡市 生涯学習推進課 検索